

第七十四回帝國議會
衆議院

米穀配給統制法案委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案
米穀配給統制法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十八日(土曜日)午前十一時
三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事長野 綱良君 理事片岡 恒一君

理事古田喜三太君 理事田中 好君

理事三善 信房君 理事馬岡 次郎君

理事窪井 義道君 理事杉山元治郎君

三好榮次郎君 村松 久義君

高田 耘平君 山田 六郎君

今成留之助君 信太儀右衛門君

山本 条吉君 福田關次郎君

勝田 永吉君 小野 寅吉君

河野 一郎君 吉植 庄亮君

大石 倫治君 助川啓四郎君

小山田義孝君 西川 貞一君

國光 五郎君 伊東 岩男君

石坂 繁君 北 勝太郎君

平野 力三君 三宅 正一君

杉山元治郎君 佐竹 晴記君

小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 松村 謙三君

農林參與官 林 讓治君

農林省米穀局長 周東 英雄君

商工省商務局長兼商工
省統制局長 新倉 利廣君

拓務省殖産局長 植場 鐵三君

朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀配給統制法案(政府提出)

○添田委員長 ソレデハ開會致シマス

○吉植委員 委員長

○添田委員長 吉植君、既ニ質問ガ打切ラ

レテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマスカ

ラ、極メテ簡單ニ五分間カソコラデ御願シ

マス

○吉植委員 承知致シマシタ、私ハ農林大

臣ニ御尋シタイノデスガ、本委員會デ農林

大臣ハ産業組合ト中小商業組合トノ摩擦ヲ

避ケルト云フ意味カラ、大調査機關ヲ設置

セラレル、斯ウ云フ御話ガアリマシテ、是

ハ國家ノ爲ニモ非常ニ慶賀スベキコトト存

ジマス、就キマシテハ今度農林大臣トシテ、

モウ一ツ大キナ調査機關ヲ拵ヘテ貰ヒタイ、

斯ウ思ヒマスノハ、過般モ此ノ事ハ質問致

サウト思ヒマシタガ、時間省略ノ爲ニ懇談

ニ讓ルト申上ゲマシタノデスガ、アノ案ガ

出マシタノデ、此處デ正式ニ一ツ御意見ヲ

承ツテ見タイト思ヒマス、ト申シマスノハ、

今日米ト云フモノハ、國民ニ最モ關係ガ深

イモノデアリナガラ、其ノ研究ト云フモノ

ガ徹底ヲ缺イデ居リマス、生産カラ消費

ニ至リマスマデノ各階梯ヲ見マスノニ、此

ノ米程日本人トシテ研究ヲ怠ツテ居ルモノ

ハゴザイマセヌ、ソコデ農林省トシテハ米

ノ生産カラ消費ニ至リマスマデノ一切ノ段

階ヲ含メタ大キナ調査機關ヲ拵ヘテ貰ヒタ

イ、ト申シマスノハ、時間ガアリマセヌカ

ラ、タツタ一ツノ例ヲ申上ゲテ置キマスガ、

只今農林省ノ方針ト致シマシテハ、種ヲ播

キマス際ニ、鹽水ノ中ニ入レテ種ノ浮ビマ

シタモノハ拾テマス、其ノ鹽水ハ生卵一箇

ヲ浮カセテ、ソレガ丁度半分上ニ出テ、半

分下ニ沈ム程度ノ鹽水デ、此ノ鹽水ニ種ヲ

入レテ浮ビマシタモノハ全部取捨テテ、ア

トノモノヲ播カセル、是ガ日本全國ノ方針

ニナツテ居マリヌ、所ガ私共ノ方デハ若種

法ヲ用ヒテ種ヲ採ツテ居リマス、此ノ若種

法ニ依ツテ採リマシタ種ハ、左様ナ鹽水ニ

浮ベマスト殆ド八割カラ九割マデ浮イテシ

マヒマス、所ガ此ノ若種法ヲ用ヒテ採リマ

シタモノハ、少クトモ一割以上ノ増收ヲ見

ルト私共ハ確信ヲ致シテ實行致シテ居リマ

ス、其ノ理論ハ、人間ニ於キマシテモ若ク

テ血氣旺ンナ人ノ子孫ト云フモノガ一番優

秀デアル、腰ノ曲ツテシマツタ人カラ生レ

タ所ノ子供ハ、大體ニ於テ優秀デナイ、然

ルニ種ハ何ガ故ニ腰ノ曲ツタヤウナ種、所

謂完熟シタ種ヲ用ヒナケレバナライナカ、

斯ウ云フ理論カラ出發シテ、吾々ノ先覺者

ガ之ヲ實行致シマシテ、ソレヲ吾々ハ用ヒ

テ居リマス、是ハ事實デゴザイマシテ、農

林大臣ガ其ノ事實ヲ御覽ニナリタイト云フ

コトデゴザイマシタナラバ、私共ノ農場ニ

御案内致シマス、斯様ニ一ツノ對立致シマシ

タコトガ好成績ヲ擧ゲテ居リマス、サウシ

マス、是ハ農林省ノ方カラ申シマス、

異端デアルトカ、左様ナコトガアリ得ル筈ガ

ナイト云ツテ斥ケマシテ、決シテ之ヲ取容

レテ研究シヨウト致シマセヌ、斯様ナ事例

ガ澤山ゴザイマス、其ノ事例ニ付キマシテ

ハ、何レ大臣ト御懇談申上ゲテ、其ノ節詳細

申上ゲマスガ、是ハ一ツノ例デアリマス、何時ゾヤ私ガ商工省ト農林省ノ間ニ、ドウモ相剋摩擦ガアツテ困ルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、是ハ單ニ農林省ト商工省ノミデハアリマセヌ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、農林當局ト民間トノ間ニ相剋摩擦ガアルノデゴザイマス、民間ハ多年ノ研究ニ依リマシテ、自己ノ信ズル所ヲ發表シテ、農林省ノヤリ方ガ間違ツテ居ル、斯ウ言ヒマスト、農林省ノ方デハソレヲ受容レテ、然ラバ吾々ノ方デモ研究シテ見ヨウト云フコトニナラナケレバナラス、實ニ是ハ一割増收ニナルト云フ日本ノ大問題デゴザイマス、特ニ本年ノ如キハ、是ハ大イナル意味ヲ持つモノデゴザイマスガ、今日マデ農林省デ左様ナ研究ヲ致シテ居リマセヌ、マダ他ニ幾多ノ事例モゴザイマス、デアリマスカラ此ノ際左様ナ民間ノ特殊ノ研究家ヲモ包含シタ大キナ調査機關ト云フモノヲ拵ヘマシテ、將來如何ナル國難ガ參リマシテモ、米ノ問題ダケハ大丈夫ダト云フヤウナ、即時其ノ研究ヲ非常時ニ用ヒルコトガ出來マスヤウナ調査機關ヲ設置願ヒタイ、斯ウ考ヘマスガ、農林大臣ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 先般私ガ、日本中層ノ生

活安定ニ關スル委員會ヲ開イテ、單ニ産業組合ト反産運動トノ摩擦バカリデナク、有ユル方面ノ問題ヲ研究スル機關ヲ設ケタイト云フノデ、話合ヒヲ致シテ居リマススト云フコトヲ申上ゲマシタガ、ソレハ其ノ通りデアリマス、而シテ是ト相並行シテ米穀ノ問題ニ關シテ特ニ大キナ調査機關ヲ設ケテ、而シテ此ノ生産ノ確保ニ對シテ、又生産ヲ安クスル點ニ付テ、或ハ其ノ他ノ點ニ付テ、十分研究スルヤウニシタラドウデアラウカト云フ御意見デアリマスガ、洵ニ御意見トシテ一應御尤ト考ヘマス、只今農林省ニ於キマシテハ幾多ノ委員會ガアリマスケレドモ、マダ綜合シタル所ノ左様ナ米穀ニ對スル委員會ハ出來テ居リマセヌ、唯御承知ノ通り米穀統制其ノ他幾他ノ委員會ガアリマシタガ、之ヲ今御話ノ如ク綜合シタ組織ニ依ツテ研究スルト云フコトハ、最モ適當ト考ヘルノデアリマス、併シ差當リト致シマシテハ、御承知ノ通り所謂生産計畫委員會、或ハ農林技術委員會其ノ他ニ於テ之ヲ研究シテ居ルノデアリマスカラ、今御話ノヤウナ委員會ヲ茲ニ直チニ作ルカ否カト云フコトニ付キマシテハ、實ハ甚ダ何デアリマスケレドモ、私今初メテサウ云フコトニ氣ガ附イタト申シテハ何デアリマスケレドモ、從來斯ウ云

フ各種各様ノ機關ヲ利用シテ、大體ニ於テソレ等ノ研究ガ出來ルヤウニ考ヘテ居リマシタノデ、御意見ノ在ル所十分尊重致シマシテ、至急ニ研究致シマシテ適當ニ考慮致シタイト考ヘマス

○吉植委員 私人質問ハ終リマシタ

○添田委員長 杉山君

○杉山委員 先日質問ヲ殘シテ居リマシタ點ヲ茲ニ簡單ニ御伺致シマス、第二十九條第三號「前二號ノ事業ニ附帶スル事業」此ノ中ニハ保管ト、立替ト運送仲立トアル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、サウ致シマスト、此ノ會社ガ運送仲立ト申シマシテモ、運送ノ仕事ヲスルヤウデゴザイマスガ、先ヅ伺ヒタイ點ハ從來農民ガ庭先カラ市場マデドレダケノ運賃ヲ支拂ツテ居ツタカ、此ノ會社ガ出來テ運送仲立ヲスルコトニ依ツテ運賃ガ多少デモ輕減スルカ、シナイカト云フ點ト、運送仲立ヲ致シマス時ニ、國際通運會社ト申シマスカ、御承知ノヤウニ運送ヲ統一シテ居リマス會社ト、此ノ日本米穀株式會社トノ關係ハドウナルノカ、ソレカラ臺灣米或ハ其ノ他内地米ノ運送ニ對シテ船會社トノ關係ハドウナルカ、斯ウ云フ點ヲ第二十九條ノ第三號ノ附帶事業ニ關シテ御伺シタイノデアリマス、質問ダケ簡單ニ

先ニ申上ゲテ置キマス、次ニハ米穀取引所ノ善後處置ニ付デアリマスガ、此ノ會社ガ出來ルコトニ依リマシテ失業スルト申シマスガ、或ハ正米市場ニ轉換シナケレバナラナイヤウナ取引員ハ、百七十一名アルカノヤウニ伺ツタノデアリマスガ、ソレガ取引所員ノ方ノ話デハ、二百五十七名アルト云フヤウニ聞イテ居リマスガ、其ノ間ニ數字ノ差ガアルガ、是ハドナラガ本當デアルカ、ソレカラ聞及ブ所ニ依リマス、三百五十萬圓ノ轉業資金ヲ出スト云フヤウナ話ヲ聞イテ居リマスガ、ソレハ二百五十七人ニ出スノカ、或ハ政府ノ方デ御示シナツテ居ツタ百七十一人ノ人達ニ出スノカ、寧ロスウ云フ轉業資金ヲ御出シニナルナラバ、不慣レデアリマス所ノ實米ヲヤラスヨリモ、別ノ方面ニ向ハシメタ方ガ宜イノデハナイカ、ソレト共ニソレ等ノ使用致シテ居リマス店員ニ對シテモ十分ナ保護、又サウ云フヤウナ援助ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ關シテ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、私ノ伺ヒタイト思フ點ハ此ノ二點デアリマス

○周東政府委員 簡單ニ御答致シマス、此ノ會社ノ第二十九條第三號ニ依ツテ行ハレル事業ト、既設ノ運送會社ナリ金融業者ト

ノ關係ハドウデアラウカ、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、是ハ運送業ヲ其ノ會社ガ直接ヤルノデハゴザイマセヌノデ、ソレ等ノ運送ヲ必要トスル場合ニ於キマシテ、取纏メテ運送業者ニ轉換ラシテヤルト云フコトノ範圍ヲ出デナイノデアリマスカラ、運送業者トノ間ニ於ケル關係ニ於キマシテハ、何等影響ハナイト思ヒマス、ソレカラ金融ノ問題ニ付キマシテモ、荷爲替ニ依ツテ送ラレテ参リマシタ品物ニ付キ、其ノ荷爲替ノ代金ヲ立替ヘテヤルト云フ程度デアリマスノデ、金融業者ニ取ツテモ資金ノ廻轉ガ早クナリ得ルコトニナリマスノデ、却テ便宜カト思ヒマス、ソレカラ取引員ノ數ノ問題デアリマスガ、是ハ取引員ト致シマシテハ只今御話ノヤウナ數ニアリマスガ、其ノ中正米業者ニアラザル、米ノ取引ヲシナイ取引員ト云フモノハ百七十一名デアリマス、此ノ點ニ付テモ數字ニ間違ハゴザイマセヌ、是等ニ對スル轉業資金ト云フモノガ三百五十万圓出ルノカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、此ノ金額ニ付テハマダ確定ハ致シテ居リマセヌ、取引員ノ従業員トカ店員ト云フモノニ付テノ御話ガアリマシタガ、是ハ直接ニ取引員ニ付テノコトヲ考慮シテヤルコトニ依リマシテ、間接ニ店員等ノ處置ガ

出來ルモノト考ヘテ居ル譯デアリマス
○小野(謙)委員 私ハ事務當局ニ御尋致シタイノデアリマスガ、内地産米中ノ販賣米ノ數量ハ約三千五百万石、ソレカラ縣外移出米ハ千五百万石、從來東京、大阪、名古屋其ノ他重要都市ニ集荷シマシタモノハ千二百三十万石サウデアリマシテ、ソレハ朝鮮米モ若干入ツテ居ルノダサウデアリマシタガ、ソレデ今度全國ニ三十何箇所ガ出來マス市場ヲ通シテ流レマス内地産米ハ、大體移動米ノ中デ何割位政府ハ御見込ニナツテ居リマセウカト云フ點デアリマス、私ノ計算デハ政府カラ御示シニナリマシタ所ノ米穀取扱手數料カラ推算シマスレバ、約三千八百六十万石ト云フモノガ出テ來ルノデアリマス、併シ其ノ中ニハ、ヤハリ清算ニ依ツテ取引サレルモノモアルト思ヒマスカラ、實米トシテ流レルモノガドレダケアルカト云フコトヲ、先ヅ第一ニ伺ヒタイ、第二ハ新ニ出來マス所ノ新市場デアリマスガ、其ノ設置場所デアリマス、政府ハ全國必要ナル場所ニ市場ヲ設ケルトシテアリマスガ、其ノ市場ノ設置場所ハ政府ニ於テ既ニ内定デモシテ居ルノデアリマスカ、或ハ又新會社ガ出來テカラ新會社ニヤラセルノカ、内定シテ居ツテモ發表ガ出來ナイト云フノデ

アリマスカ、私ノ常識カラ判斷スルト、既設取引所ノ所在地 現在政府ガ米穀ノ集散配給ノ必要ヲ認メマシテ、政府ガ米穀事務所ト云フモノヲ全國ニ出張所ヲ加ヘテ十六箇所持ツテ居リマスガ、是等モ私共ノ常識デハ、今度ノ市場ノ設置場所トシテノ優先的ナモノト考ヘマスガ、左様ニ承知シテ宜シイカ、此ノ二點ヲ事務當局カラ伺ヒタイ
○周東政府委員 實物市場ニ於ケル大體ノ取扱數量ガ、ドノ位カト云フ御質問デアリマスガ、是ハ先程モ申シマシタヤウニ、大體六大都市ノ所在地附近ニ入リマス内地米ノ移入高ノ五割見當、其ノ他ノ縣ニ於テハ其ノ縣外移出米ノ約二割程度、ソレカラ朝鮮米ノ移出高ノ五割程度、臺灣米ノ八割程度ト云フモノガ集マルデアラウ、斯ウ云フ見込ヲ立テテ居リマス、第二ノ市場ノ設置場所ノ問題デアリマスガ、是ハ大體ニ於テ正米市場ナリ或ハ取引市場ノアリマス箇所ニ、或ハ實物取引或ハ未著物取引ト云フヤウナ形態ニ於テ、市場設置ヲ豫定シテ居リマス、併シナガラ是ハ實際ニ實施スルマデニハ、能ク其ノ地方ノ米ノ動キ等ヲ考慮致シマシテ、其ノ間ニ増減ハ致スコトト考ヘテ居リマス

ハ……
○周東政府委員 此ノ點モ米穀事務所ノ所在地ニ必ズ置クト云フコトハ考ヘテ居リマス
○小野(謙)委員 常識的ニサウ考ヘテ宜シウゴザイマスカ
○周東政府委員 其ノ點ハ必ズシモ其ノ場所ニ置クト考ヘテ居リマセヌ、併シ其ノ地方ノ實情ニ應ジマシテ、其ノ場所ニ置クトガ適當デアルト云フコトナラバ、市場ノナイ箇所ニモ置ク場合ガアルカト思ヒマス
○添田委員長 河野君
○河野委員 委員長ガ大變審議ヲ御急ギノヤウデアリマスカラ、成ベク御趣旨ニ副ツテ御尋致シマス、唯茲デ申上ゲテ置キタイコトハ、私ハ審議ヲ急グ關係カラ、質問ヲ致スコトヲ留保シテアリマシタモノモ、實ハ拋棄スル位ノ誠意ヲ持ツテ居ルノデアリマス、所ガ御承知ノ通り我ガ黨ト致シマシテハ、本案ニ對スル討論ノ準備ガ整ツテ居リマセヌ、其ノ準備ガ出來ルマデハ討論ガ出來マセヌノデ、ソレマデ質問ヲ繼續サシテ戴キタイト思ヒマス、是ハ本審議ニ支障ヲ與ヘルト云フ意味デハアリマセヌノデ、豫メ御諒承ヲ願ツテ置キマス、先ヅ第一ニ御尋ラシタイノハ、内地ニ於キマスル清算

取引市場ニ於テ、現在清算取引數量ハ、最近一箇年間ニ於テハ、ドノ位ニナツテ居リマスカ、市場毎ニ御示ヲ願ヒマス

○周東政府委員 配付資料ニ御示致シテ置キマシタガ、總額四千二百萬石位デアリマシテ、酒田三十三萬七千八百石、鶴岡二十萬七千二百石、東京千五百四萬六千六百石、新潟百四十三萬八千九百石、長岡一萬五千六百石、高岡二十九萬九千五百石、金澤九十二萬石、名古屋二百十八萬六千三百石、豐橋五千五百石、京都百二十四萬九千六百石、堂島千四百十九萬五千二百石、神戸百四十三萬五千四百石、岡山百八十九萬八千五百石、下關二百四十四萬七千七百石、佐賀……

○河野員 莫ウ結構デス、次ニ御尋シタイノハ、從來鮮米ガ内地ヘ輸入サレマス場合ニ於テ、取引所ヲ通ジテ正米取引乃至ハ定期ノ清算受渡トシテ取引サレマシタモノガ幾ラ、是ハ大體ノ總額デ宜シウゴザイマス、ソレカラ是等ヲ通ゼズシテ移入サレタモノハ幾ラト云フコトノ數字ヲ御示ヲ願ヒマス

○周東政府委員 是ハヤハリ十三年度ノ數ヲ申上ゲスマガ、大體朝鮮米ハ三十七萬七千石餘デゴザイマス、是ハコチヲノ清算取

引市場ニ於テ受渡サレタ數量デゴザイマス

○河野委員 ソレデハ成ベク簡單ニヤリマス、ソコデ御尋シタイノハ、今御示ニナリマシタ數字ト、今回此ノ會社ガ出來マシテ市場ニ於テ取引サレル數字、即チ約半額ト云フコトデアリマスガ、非常ニ其ノ間ニ懸隔ガアルノデアリマス、サウ致シマスと今後ニ於キマシテハ、大體鮮米ハ内地ノ市場ヲ通ジテ配給サレルト云フコトニナリマス、從來ノ取引機構ト其ノ點ニ於テ非常ニ變化ヲ來シテ來ル、内地ノ米ノ移動ニ付キマシテハ、例ヘバ取引市場ヲ通ジマシテモ、其ノ近在ノ取引市場ニ依リマスノデ、運賃、運送諸掛等ニ付テ左シタル支障ハナイト考ヘマスガ、今後ソレガ市場ヲ通ジテ内地ニ配給サレマスモノヲ政府ニ於テ斯ノ如ク多量ニ御見込ニナリマスと、市場ヲ通ズルコトニ依ツテ生ズル所ノ諸掛ト云フモノハ、殖エルガラウト思フ、之ニ對スル御所見如何デアリマスカ

○周東政府委員 是ハ此ノ度ノ市場ニ於キマシテ、朝鮮米ノ相當數量ヲ取扱ヘル見込ヲ立テテ居リマスガ、御話ノヤウニ特ニ此ノ市場ヲ通ズルコトニ依ツテ、餘計ナ諸掛ガ掛ルヤウニハ私共考ヘテ居リマセヌ、寧ロ此處ニ於キマスル種々ナル運送ノ取纏メ、

仲立、或ハ積込、積卸ト云フヤウナ仕事ニ付キマシテモ、色々ト此ノ會社ノ附帶事業ト致シマシテ、纏メテ世話ヲ致シテヤリマス、ソレカラ賣買ノ手数料等ニ於キマシテモ、出來ルダケ低減致シマス等ニ依リマシテ、諸經費ノ節約ト、ソレカラ合理的ナ價格ニ依リ取引ヲサセルト云フコトニ依リマシテ、總體的ニハ可ナリ經費ノ節減ニナルモノト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○河野委員 市場ヲ通ジマスと、市場ノ手数料ハ二厘乃至三厘ト云フコトデ簡單デアリマスケレドモ、市場員ガ下ノ問屋ナリ小賣商ニ賣ルト云フ場合ノ手数料ト云フモノガ又入ツテ來ル、從來デアリマスレバ、朝鮮カラ直接ソレノ需要地ニ於テ買付シテ、其處ノ潰シ屋ガソレヲ處分スルト云フコトニナリマスガ、市場ヲ通ルコトニ依ツテ段階ガ——市場ノ手数料ハ僅ナモノデアリマスケレドモ、人ノ手ヲ通ル、帳簿ヲ通ル回数ガ殖エル、斯ウ諒承致シマスガ、其ノ點ハドウデアリマスカ

○周東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ從來ト市場外ノ關係ニ於キマシテハ變リハアリマセヌガ、市場ヲ通ル關係ニ付キマシテモ、ソコニ大キナ移入問屋ト云フヤウナモノガ販賣スル場所ヲ市場ニ於テ出來ルダケ

ヤラセルト云フコトデアリマシテ、ソレヲ買受ケマシタ小賣商人或ハ消費地ノ問屋等ガ配給スル關係ニ於キマシテハ、別ニ從來ト變ツテ居ラナイデアリマス

○河野委員 一寸見解ガ違ヒマスケレドモ、時間ガ掛リマスカラ省略致シマシテ、其ノ點ハ只今政府委員ノ御示ノヤウニハ私ハ考ヘマセヌノデ、十分御研究アラシコトヲ御願致シマス、次ニ御尋シタイノハ實ハ昨日朝鮮ノ政務總官カラ御伺シタノデアリマスガ、鮮米移出ノ場合ニハ、朝鮮ニ於テハ移出組合ニ依ツテ之ヲ内地ニ移入ヲスル、向フカラ申セバ移出スルト云フコトノヤウニ御示ヲ願ツタノデアリマスガ、サウ致シマスと、内地側カラ考ヘマスと、從來ノヤウニ朝鮮ガ非常ニ多クノ「パイプ」カラ内地ノ多クノ「パイプ」ニ流レテ來マス場合ニハ、是ガ勢ヒ月別デアルトカ何トカ云フヤウナコトヲ言ハヌデモ、徐々ニ色々ナ管カラコツチヘ流込デ來ル、所ガソレガ三本ナリ五本ナリ太イ管カラ流レテ來ルコトニナリマスと、之ニ對スル統制力ト云フモノハ餘程シツカリ御考ニナリマセヌト、支障ガ起ツテ來ル、例ヘテ申セバ此ノ市場ニ朝鮮米ノ賣方ノ大手ト云フモノガ出來テ來ル、朝鮮米七八百萬石ヲ内地ニ要スル米

ヲ四ツカ五ツノ法人ノ手ニ依ツテ、コチラニ賣ラレルト云フコトニナリマス、少クトモ一ツノ法人が百万石二百萬石ト云フ米

ヲ一年ニ内地ノ市場ニ向ツテ賣ルコトニナル、是等ノ動向如何ニ依ツテハ、内地ノ相場ニ影響シテ來ル、是ハ餘程考ヘナケレバナルマイト思フ、吾々ガ嘗テ昨年臺灣米ノ移入統制ニ對シテ根本カラ反對シタ所以ハ、茲ニアツタノデアリマス、ソレヲ幸ニ

モ政府ノ手ニ依ツテ是ガ監督サレ、法律ニ依ツテ監督サレト云フコトニナリマシタノデ、臺灣米ニ對スル問題ハ一應吾々ハ解消シテ居ルヤウニ考ヘマス、然ルニ今同

鮮米ノ方面ニ於テ斯ノ如クニ大手筋ノ手ニ依ツテ、是ガ内地ノ希望スル市場ニ賣ラレテ來ルト云フコトニナリマス、其ノ由テ

生ズル影響ト云フモノハ非常ニ大キナモノガアルト思フ、是等ニ對シテハドウ云フ御考デアリマスカ

○大野政府委員 只今御話ニナリマシタ朝鮮ノ移出ノ組合組織ニ付キマシテハ、大體内地ノ此ノ度ノ會社ト連絡ヲ致シマシテ、會社設立ノ趣旨ニ副フヤウニ總督府トシテ只今考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ是等ノ詳細ノ運用等ニ付キマシテハ、農林當局ト十分ノ打合ヲ致シマシテ、御話ノヤウナ點

ニ付キマシテ寧ろ弊害ヲ起スト云フヤウナコトガナイヤウニ十分ノ措置ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○河野委員 適當ナル處置ヲ致シタイト云フコトデアルガ、其ノ適當ナル處置ヲ私ハ伺ツテ居ルノデアリマス、ドウ云フ適當ナル處置ヲ執ラレルカ、如何ナル法律の根據ニ依ツテヤラレルカ、私ハ朝鮮ノ事情ハ能ク存ジマセヌガ、ヤハリ同ジ日本ノ國デ法律の根據ナシニ役人ガ勝手ニ適當ナル處置ハ出來マイト思フ、如何ナル根據ニ依ツテサウ云フ適當ナル處置ヲ御執リニナルカ、此ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○大野政府委員 行政上能ク農林當局ト連絡ヲ取りマシテ、遺憾ノナイヤウニ監督致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○河野委員 行政上農林當局ト連絡ヲ御取リニナリマスノモ、ドウ云フ行政の根據ニ依ツテオヤリニナルカ、何カソコニ基準トナルベキ法律ガナケレバ、如何ニ農林當局ト御打合せニナリマシテモ、監督ノ仕様ガナイ、嘗テ鮮米ガ内地ニ流レテ來ルコトニ付テ、吾々ハ色々苦慮シタ時代ガアル、鮮米ガ内地ニ流レテ來ルト、米價ガ下落シテ困ル、ソレニ對スル鮮米ノ取扱ニ付テ、吾々ハ其ノ當時色々手段方法ヲ採ラウト考慮

致シマシタケレドモ、遂ニ拓務省當局ノ御諒解ヲ得ラレナクテ、非常ニ苦慮シタ經驗ヲ過去ニ持ツテ居ル、デアリマスカラ、今茲デ農林當局ト適當ナル連絡ヲ御取リニナルト仰シヤイマスケレドモ、ドウ云フ風ニ適當ナル連絡ヲ御取リニナルカ、唯御話合ニナツタ所デ、基準トスベキ法律ガナケレバ、手段ハナカラウト思フ、此ノ點ヲ伺ツテ居ルノデアリマス

○大野政府委員 事ノ實際ニ付キマシテ、適當ナル方法ヲ採ルト申上ゲルヨリ外ナイト思ツテ居リマス、若シ必要ガアレバ、或ハ制令ヲ出スト云フヤウナ問題モ起ルカモ知レマセヌ、併シ今茲デドウスルト云フコトハ、私ハ申上ゲラレナイト思ヒマス

○河野委員 農林大臣ニ御尋致シマス、私ハ昨年ノ臺灣米移入ニ付テ、内地ノ農林協議會ニ於テ、先輩ト共ニ、只今申上ゲタ點ヲ願慮シテ絕對反對ヲシタ一人デアリマス、所ガ今年ハ議會ニ米穀會社法案ガ提出サレ、或ハ内地ノ米穀特別會計ニ於テ之ヲ販賣スルト云フコトデアル、サウシテ臺灣米ヲ取纏メテ内地ニ移入スル場合ニ於テハ、其ノ販賣方法ニ付テ、適當ノ途ヲ講ゼラレルト云フコトデアルカラ、吾々ハ了承シテ居ルノデアリマス、所ガ鮮米ニ付テハ、

現在朝鮮當局ガ御示シニナリマスヤウニ四五箇所ニ移出組合ヲ作ル、其ノ移出組合デ、鮮米七八百萬石ヲ纏メテ移出スルト、是ガ統制サレタ朝鮮米ノ非常ナ大手ニナル、是ヲ内地ノ何處カノ市場ニ賣被セテ來ルコトニナツタラ、吾々トシテハ非常ナ不安ヲ感ゼザルヲ得ナイ、是ガ内地ノ米價ノ騰貴ニ對シテ非常ナ支障ヲ來ス、例ヘバ何處ノ市場ガ上リ相場ダト云フノデ、其處ノ市場ヘ賣ラレレバ、其處ノ市場ガ叩カレル、又此方ノ市場ガ高サウダト云フノデ、其處ニ賣被セル、サウスレバ鮮米ノ操作ノ爲ニ、内地ノ農民ノ由ツテ被ムル不利益ハ非常ニ甚大ナモノガアルト思フ、之ヲ内地ヘノ移入鮮米月別平均ハ勿論ノコト、之ヲ從來ノ需要地ニ對シテ旨イ工合ニ流スコトニ依ツテ、

内地ノ米價ノ騰貴ヲ抑ヘナクテ濟ムヤウニ思ヒマス、所ガ今アナタ方ガ仰シヤルヤウニ、適當ナル方法ト云ツテモ、吾々ハソレヲ待ツ譯ニハ行カヌ、此ノ點ニ對シテ農林大臣ハ如何ニ御考デアリマスカ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 今河野サンノ御話ノヤウニ、内地ヘ移入スル朝鮮ノ米ガ、一手ニ纏ツテ來ルコトニナルト、御話ノヤウナ心配モ起ルノデアリマス、左様ナ關係ニアラズ

シテ、向フニ於テ、臺灣ト同ジヤウナ手續
デハナク、大體ニ於テ月々若クハ一定ノ基
準ニ依ツテ、内地ニ移入シテ貰フコトニナ
ルト考ヘルノデアリマス、此ノ朝鮮ノ計畫
ニ依ツテ、内地ノ農村ガ脅威ヲ受ケルガ如
キコトハ、絶對ニナイヤウニ致ス考デアリ
マス

○河野委員 大臣ノ御考ハ吾々ノ希望スル
所デアリマスケレドモ、今御話ノヤウニ、
朝鮮ノ方デ御考ニナツテ居ルノハ、主要ナ
ル四五箇所ノ移出港ニ移出組合ヲ作ツテ、
其ノ組合ガ對象ニナツテ内地ニ賣ル、内地
ノ商人ガ買フ場合ニハ、其ノ移出組合ニ向
ツテ買注文ヲ出スノダ、斯ウ云フ風ニ昨日
御説明ニナツテ居リマス、朝鮮ノ方ハ臺灣
ノヤウニ移出スル所ガ一ツデアリマセス
ケレドモ、數量ハ七八百万石アリマス、多
イ時ニハ一千万石ニモナラウト思ヒマス、
其ノ米ヲ四五箇所ノ移出組合ガ對象ニナリ、
中心ニナツテ、向フカラ言ヘバ移出スルノ
デアリマス、サウ云フコトニナリマス、ト
組合ガ多イノハ三百万石モ扱フデセウシ、
少クモ百万石、百五十万石ハ扱フコトニナ
ル、サウシテ三百万石カラノ米ヲ内地ヘ持
ツテ來テ賣ルト云フ大手ガ出來テ來ル、其
ノ大手ニ對シテハ餘程完全ナル統制命令權

ヲ持ツテオイデニナラナケレバ、又同時ニ
是ハ單ニ朝鮮ダケデナシニ、内地ノ市場ヲ
餘程旨クヤリマセヌケレバ、吾々ハ之ニ對
スル不安ヲ解消スル譯ニハ參リマセヌ、農
林大臣ハ適當ニオヤリニナルト仰シヤイマ
スケレドモ、今私ガ申上ゲマシタヤウニ、
甚ダ失禮デアリマスルガ、吾々ハ過去ニ於
テサウ云フ苦イ經驗ヲ嘗メテ居ル、朝鮮ト
内地トノ米穀政策ハ、ドウシテモ一致シナ
イ、其ノ爲ニ吾々ハ永年苦心シタノデアリ
マス、之ヲ此ノ儘ニシテ置キマシテ、其ノ
移出組合ガ向フダケノ利益ノ爲ニ内地ニ賣
ツテ來ラレタナラバ、非常ニ迷惑スルコト
ハ何人ガ考ヘデモ分ルグラウト思フ、之ニ
付テ此ノ機會ニ於テ明確ナル御答辯ヲ承ラ
ナケレバナラス、唯適當ニ善處致シマス、
適當ニヤリマス、ト云フコトダケデハ、吾々
トシテハ必ズ問題ガ起ルト斷言シテ置キマ
ス、過去ニ於テ吾々ハ再三サウ云フ經驗ヲ
嘗メタノデアリマスカラ、大臣ノ仰シヤイ
マス、ト對シテ、甚ダ失禮デアリマス、ケ
レドモ、ソレニ對シテ何等カ適當ナル處置
ヲ執ルコトヲ此ノ機會ニ御言明ニナラナケ
レバ、適當ニオヤリ下サルダケデハ、大臣
ガ御辭メニナツタ後デ吾々非常ニ困ル、此
ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○大野政府委員 一寸私ノ説明ガ不十分デ
アツタカ知リマセヌガ、組合ヲ拵ヘテ、其
ノ組合ガ此ノ米ヲ買ツテ賣ル譯デハナイノ
デアリマシテ、従前ノヤウニ移出商ガ移出
ヲ致シマス、其ノ委託ヲ受ケテヤルノデア
リマシテ、謂ハバ其ノ世話ヲスルダケノ話
デアリマス、隨テ御懸念ノヤウニ、非常ニ
強イ統制力ヲ以テ内地ニ賣込ムコトハ私ハ
割合ニ少イト思ツテ居リマス、其ノ點ヲ一
言申添ヘテ置キマス

○河野委員 今ノ御説明デアリマスガ、結
局同ジコトデス、組合ニ委託シテ移出ヲス
ルト云フノデアリマスガ、ソレハ見様ニ依
ツテハ委託デアルカラ大シタコトガナイ、
所ガ運用ノ仕様ニ依ツテハ、ヤハリ是ハ統
制組合デアリマス、移出組合デアリマス、
組合ノ幹部ノ旗ノ振方デ、茲ニ話ヲ纏メテ
一ツノ「パイプ」ニナツテ流込ムコトハ間違ナ
イ、内地カラ買注文ヲ發スル場合ニハ、其
ノ組合ニ向ケテ買注文ヲシ、組合ガ、宜シ
イ賣ツテヤレト云フコトニナルノハ間違ナ
イ、今御話ノヤウニ解釋ノ仕様ニ依ツテハ
殆ド是ハ大シタ働ヲシナイト云フナラ、サ
ウ云フ組合ハ要ラス答デアリマス、ソコニ
統制組合ヲ作ルノハ、統制スル必要ガアル
カラ組合ガ出來ル、若シ御示シノヤウニ大

シタ問題デナイナラバ、組合ノ必要ガナク
ナル譯デアリマス、所ガ組合ヲ作ツテオヤ
リニナルコトハ、一方ニ於テ統制ノ善所ヲ
發揮スルト共ニ、此ノ善所ガ内地ニ對シテ
障礙ニナルコトヲ吾々ハ慮レルカラ、之ニ
對シテ取締ニ付テノ適當ナル施設ガナケレ
バ困ル、斯ウ云フノデアリマス、私ハ一概
ニ移出組合ノ長所ヲ無視シテ言フノデア
リマセヌ、移出組合ノ長所ハ認メル、併シ
其ノ長所ガ弊害ニナル場合ガアルカラ、弊
害ノ起ツタ場合ニハ如何ニシテ之ヲ取締ル
カ、之ニ對シテ如何ニ指導スルカト云フ問
題デアリマス、過去ニ於テ吾々サウ云フコ
トガナケレバ文句ハ言ハナイノデアリマ
ス、併シ過去ニ於テ再三、再四斯ウ云フ問
題ガ起ツテ、常ニ農林省ト商工省ト喧嘩
ヲスルヤウニ、農林省ト拓務省ノ間ニ、内
外地ノ農産問題ニ付テ悉ク意見ガ對立スル
場合ガアルカラ、斯ウ申上ゲルノデアル、
今私ノ方デハ大シタコトハヤリマセヌト言
ハレルガ、大シタコトヲヤラナケレバ初メ
カラ作ラヌガ宜イノデアリマス、サウ云フ
御答辯ハ御答辯ニナラヌト思フガ、如何デ
アリマスカ

○大野政府委員 只今御懸念ノ點ニ付キマ
シテハ、再三申上ゲテ居リマスルガ、先ヅ

十分ニ行政上ノ監督ヲ致スコトハ勿論デア
リマス、元來組合ノ目的ガ左様ナ點ニアリ
マスノデ、更ニ尙ホ農林當局ト打合せマシ
テ、必要ガアル場合ニハ、是ハ法制上ノ根
據ヲ與ヘル、是ハ必ズシモ法律タルコトヲ
必要トシナイ、制令ヲ設ケル方法モアルト
考ヘマス

○河野委員 モウ一點申上ゲマスガ、サウ
スルト斯ウ云フコトニナルト諒承シテ宜シ
イカ、又同時ニ朝鮮總督ノ指導精神ト云フ
モノハ、從來ノ取引機構ヲ成ベク現狀ノ儘
ニ、内地ニ向ケテ朝鮮米ヲ流スト云フヤウ
ニ指導スルト云フコトニ諒承シテ宜シイ
カ、乃至ハ移出組合ヲ作ツテ内地ヘ賣ツテ
來ル、其ノ移出組合ノ設立ノ目的ガ朝鮮米
ヲ統制シテ内地ニ賣ル、勿論組合ガ出來マ
スレバ、組合員ノ利益ノ爲ニ組合ト云フモ
ノハ動クダラウト思フ、組合員ニ不利ヲ與
ヘル爲ニ組合ガ成立シタト云フコトハアリ
得ナイノデアリマス、所ガ組合ノ有利ノ爲
ニヤラレルコトガ、内地ノ農民トシテハ非
常ニ不利ヲ招ク場合ガアルノデアリマス、
組合ノ有利ノ爲ニ高イ市場ニ賣ラレル、コ
ツチガ高イカラ、コツチニ賣ル方ガ宜カラ
ウト賣ラレル、組合員ノ有利ダケノ爲ニ組
合ガ動力サレタナラバ、ソレハ内地ノ不利

益ヲ來ス場合ガ多イト思ヒマス、ソコニ組
合ノ設立ノ目的ト内地農民ノ利害トノ間ニ
衝突ガ起ツテ來ルト云フコトハ、當然ト考ヘ
ラレルノデアリマス、ソレヲ朝鮮總督府ノ
方ニ於テドウ云フ風ニ御指導ニナリマス
カ、今私ガ申上ゲタヤウニ、クドイヤウデ
アリマスケレドモ、朝鮮ノソレノ移出
港ノ、從來ノ鮮米ノ動キヲ尊重シテ、成ベ
クソレニ基イテ流スヤウニ御指導ニナルカ、
乃至ハ組合獨自ノ立場ニ於テ組合ノ設立ノ
目的ニ基イテ流スヤウニナルカト云フコト
ニ付テ、疑フ持ツノデアリマス、何故ナレ
バ、吾々ガ根本ニ於テ疑義ヲ持チマスコト
ハ、前ト違ツテ市場ヲ通ジテ大部分ノ米ヲ
流ス、今回ノ此ノ法律ニ依ツテ作ラレル所
ノ市場ニ大部分ノ米ガ流サレルト云フコト
ニナリマスルト、今マデノヤウニ細イ「パイ
プ」デタラノ内地ニ流レ込シテ居リマス
レバ、大シタ壓迫ガナイノデアリマス、所
ガ太イ「パイプ」カラ此ノ公設ノ市場ニ向ツ
テ流レテ來マスト、常ニ之ニ重壓ヲ感ジ
テ、内地ノ米ガ上リニクイノデアリマス、
而モ内地ノ米ハ之ニ依ツテ總テ取引サレテ
居リマスナラバ、鮮米ガ八百万石、千万石來
マシテモ、之ニ依ツテ米ガ重壓ヲ感ジナイ
ノデアリマス、所ガ内地ノ市場ニ於テ取引

サレル米ノ數量ト、稍、等シイ鮮米ノ數量ガ
此ノ市場ニ向ツテ來レバ、重壓ヲ受ケマス
カラ、此ノ市場ニ於テ農民ノ希望スル内地
ノ上ゲ相場ニアリマス時ニハ、常ニ鮮米ノ重
壓ニ依ツテ米ガ上ラナイノデアリマス、デ
アリマスカラ内地ノ農民ノ受ケル打撃ト云
フモノハ、非常ニ大キイノデアリマス、是
ハ非常ニ重大ナ問題デアリマスカラ、今考
ヘラレマスヤウニ鮮米ヲ五本ノ大キナ「パ
イプ」デ内地ノ市場ニ向ケテ流シテ來ルト
云フコトハ、常ニ内地ノ米價ニ對シテ非常
ナ重壓ヲ感ズルコトニナルノデアリマスカ
ラ、内地ノ農民ノ受ケル所ノ不利益ハ非常
ニ莫大デアリマス、此ノ點ハ吾々ハ餘程準
備ガナケレバ諒承スル譯ニハ參リマセス、併
シ私ハ時間ガアリマセスカラ、此處デ明確
ナル御答辯ヲ得ヨウトハ致シマセス、此ノ
委員會ハ午後カラ再會セラレルサウデア
カラ、其ノ最初ニ於テ農林當局、朝鮮總督
府トノ間ニ、私ノ今申上ゲタヤウナ點ニ
付テ十分御打合せノ上デ、ドウ云フ準備、
ドウ云フ風ニ指導スルカト云フコトニ指導
スルカト云フコトヲ、明確ニ御答辯アラン
コトヲ御願致シテ置キマス

○大野政府委員 朝鮮ニ於テ移出組合ヲ組
織スル意味ハ、決シテ左様ナ集團のナ力ヲ
以チマシテ、取引ヲスルト云フヤウナ意味
デハナイノデアリマス、大體從前ノ取引ニ
内地ノ米穀配給會社ノ設立ニ調子ヲ合セテ、
唯幾ラカソレニ統制ヲ加ヘルト云フダケノ
話デアリマス、隨テ左様ナ弊害ノ起ラナイ
ヤウニハ、再三繰返シテ申上ゲマシタヤウ
ニ、十分施設ヲスルト云フコトヲ申シタノ
デアリマス

○平野委員 是ハ私ハ一昨日モ農務局長ニ
承ツテ居ツタ問題ニ關聯ガアルノデスガ、
此ノ問題ハ只今續、御答辯ガアリマシタケ
レドモ、要スルニサウ云フ御答辯ダケハ、
ハツキリシナイト思フノデアリマス、私ハ
是ハドウシテモ朝鮮ノ米穀政策ト云フモノ
ニ對シテ、朝鮮總督府ガ根本的ナ考ヲシナ
ケレバナラス、其ノ根本的ノ考トシテ考ヘ
ラレルノハ、一ツハ朝鮮ダケハ率先シテ米
ノ專賣ヲ行フカドウカ、此ノ一點デアリマ
ス、モウ一ツ更ニ根本的ナ問題ニ付テハ、朝
鮮ノ土地制度ノ改革ト云フモノヲ行ツテ、
言ヒ換ヘマス今日ノ朝鮮ノ農業政策ト云
フモノニハ、非常ニ缺陷ガアル、現在朝鮮
米ト云フモノヲ商品化シテ居ルモノハ、實
際ノ農民デナイ、是ハ朝鮮ノ小作制度、朝
鮮ノ土地制度ト云フモノニ對シテ、朝鮮總
督府ガ相當ニ考ヘラレバ、此ノ問題ハ私

ハ相當ニ打開サレルモノト信ズルノデアリマス、具體的ニ申シマスト、相當ニ複雑ニナリマスカラ具體問題ハ申シマセヌ、抽象的ニ言ヘバ朝鮮ノ米ヲ作ツテ居ルモノト、其ノ作ツタ米ヲ取上ゲテ商品化シテ居ルモノトノ間ニ於ケル土地問題ノ解決ト云フモノニ對シテ、此ノ際相當ナル御考ヲナサル必要ガナイカ、モツト具體的ニ申シマスト、

何ト言ヒマスカ、米穀ノ抑制ト申シマスカ、左様ナ事柄ヲスルト云フコトハ、非常ニ難カシイ問題デ、今左様ナ問題ニ付テハ申上ガラレマセヌ

朝鮮ニ於ケル或ル部分ノ土地ト云フモノヲ朝鮮總督府ガ買収シテ、朝鮮總督府所有ノ土地ヲ作ツテ米價ノ操作ヲヤル、斯ウ云フ點マデ朝鮮總督府ガ考ヘナケレバ、内地ノ米ハ常ニ朝鮮米ニ依ツテ動搖セザルヲ得ナイ、幾ラ内地ニ米穀會社ヲ作ツテモ、米穀配給統制法ヲ作ツテモ、其ノ點ノ不安ト云フモノガ除去サレナイノデアリマス、此ノ點ニ關スル所ノ朝鮮總督府トシテ、モツト本質的ナ米穀政策ニ對スル所ノ根本所見ヲ考ヘ直サレル所ノ意思ハナイカ、此ノ點ヲ一ツ承ツテ置キタイ

○河野委員 先程私ノ申上ゲマシタヤウニ、午後カラト云フノデナシニ都合ニ依レバ直グニモヤラウト云フコトデアリマスカラ、モウ少シ時間ヲ與ヘテ戴キタイ、農林大臣ニ御尋スルノデスガ、臺灣ノ米ハ非常ニ今度ハ操作ガ完全ニ行クヤウデアル、是ハ臺灣獨自ノ立場カラ考ヘラレルコトハ勿論デアリマスカ、又是ハ同時ニ内地ノ農民對米價、農家經濟ト云フ各般ノ點カラ參リマシテ、吾々ノ希望ニ近イ操作ガ出來ルモノト考ヘテ居リマス、所ガ今申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ツテ操作ガ完全ニナリマスコトガ、鮮米ニ依ツテ或ハ逆ニ非常ニ惡イヤウナ事態ガ起ル場合モアルト思ヒマス、今ノヤウニ米ガ上廻ツテ居リマシテ、非常ニ高値ニアリマス時ハ、大シタ問題デアリマセヌケレドモ、一朝是ガ米ガ下廻ツタ時ハ、絶對ニ、朝鮮ニサウ云フ風ナ制度ガ執ラレマ

マス、ソコデ政府ガサウ云フコトヲ御考ニナルナラバ、移出統制ノ組合ヲ作ルカ、一歩進ンデ臺灣同様ニオヤリニナルコトガ、何カ支障ガアルノデスカドウデスカ、サウ云フ風ニオヤリニナツタラ如何デスカ、サウスレバ吾々ノ此ノ議論ハ全部解消スルノデアリマスカ、其ノ點ニ付テ農林大臣ノ御考ハ如何デスカ

憂慮シテ居ル問題デアリマシテ、而モソレガ今言フヤウニ少イ「パイプ」デ流レテ參リマスコトニナリマスト——而モソレガ政府ノ御示シノヤウニ市場ニ其ノ多量ガ賣ラレルト云フコトニナリマスト、市場トシテハ之ニ對シテ壓迫ヲ感ゼザルヲ得ヌ、是ガ商取引ノ實情デアラウト思フ、隨テ餘程兩當局ノ間ニ完全ナル聯繫ヲ保タレマセヌト——今マデノヤウニ内地ヘ自然ニ滲ミ込ンデ、何處ヘ何時鮮米ガ入ツテ來タカ、分ラヌ中ニ滲込ンデ入ツテシマフト云フナラバ、内地ノ米價ニ影響スル所ハ少イ、併シナガラソレデモ相當鮮米ノ事情ハドウデアラウ、鮮米ノ相場ハドウデアラウト云フコトガ、内地ノ相場ニ何時デモ考ヘラレルノデアリマス、ケレドモ今度ハソレガ向フ「パイプ」ノ蛇口ノ締メ工合デ、内地ノ米價ガ操作サレルト云フコトハ、是ハ當然デアラウト思フ、而モ其ノ蛇口ヲ握ツテ居ル者ハ、向フノ輸出組合ノ理事長カ役員カ知ラヌケレドモ、ソレ等ノ人ノ考ヘ方デ、向ノ組合員ニ有利適切ナ販賣方法ヲスルト云フコトニナリマスト、ソレニ依ツテコチラハ迷惑ヲ受ケルコトニナリマスコト、此ノ機會ニ於キマシテ農林省ト朝鮮總督府ト兩當局ノ間ニ、速ニ之ニ對シ如何ナル御考ヲ以テ御進ミナル

○大野政府委員 只今ノ御質問ノ、朝鮮總督府ニ於テ米ノ專賣ヲスル考ハナイカト云フ御尋デアリマスカ、左様ナ考ハ只今持ツテ居リマセヌ、土地ノ問題ハ頗ル難カシイ問題デアリマス、御話ノヤウニ朝鮮總督府ニ於テ土地ヲ持ツテ、サウシテ或ル程度ノ

マシタヤウナコトニ進ンデ行クカモ知レマセヌガ、今日吾々ノ承ツテ居ル臺灣總督府ノ今回御執リニナラウト云フ施設ハ、要スルニ各商人カラ委託ヲ受ケテ、其ノ委託ヲ受ケタノヤハリコチラノ方ノ市場員ノ、成ベク從來取引ヲシテ居ツタ方面ニ、市場員ノ手ヲ經テ流サウ、流シ方ニ於テモ從來ト大ナル相違ノナイヤウナ流シ方ヲショウト、斯ウ吾々ハ承ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ是ガ實際ニ於テ行ハレマス場合ニハ、農林當局ト朝鮮ノ當局ト密接ナル聯繫ヲ執リマシテ、十分協議ヲ致シテ、苟モ今御話ノ如キ壓迫ヲ感ズルヤウナ事柄ハ、絶對ニナイヤウニ致シタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

○櫻内國務大臣 將來河野君ノ仰セニナリマシタヤウナコトニ進ンデ行クカモ知レマセヌガ、今日吾々ノ承ツテ居ル臺灣總督府ノ今回御執リニナラウト云フ施設ハ、要スルニ各商人カラ委託ヲ受ケテ、其ノ委託ヲ受ケタノヤハリコチラノ方ノ市場員ノ、成ベク從來取引ヲシテ居ツタ方面ニ、市場員ノ手ヲ經テ流サウ、流シ方ニ於テモ從來ト大ナル相違ノナイヤウナ流シ方ヲショウト、斯ウ吾々ハ承ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ是ガ實際ニ於テ行ハレマス場合ニハ、農林當局ト朝鮮ノ當局ト密接ナル聯繫ヲ執リマシテ、十分協議ヲ致シテ、苟モ今御話ノ如キ壓迫ヲ感ズルヤウナ事柄ハ、絶對ニナイヤウニ致シタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

○河野委員 今ノ大臣ノ御話結構デアリマス、吾々ハ之ニ付テハ永年先輩ト共ニ非常ニ

カト云フコトガ——私ハ甚ダ遺憾デアリマスガ、現在朝鮮總督府ガ御考ニナツテ居ル所ノ行キ方ハ、間違ヒデアルト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ置キマス、サウ云フ行キ方デ參リマスレバ、必ズ内地ノ米價ニ非常ナ憂ヲ貽スモノデアル、隨テ農林當局ニ於テハ嚴ニ慎重ニ研究サレマシテ、今ノヤリ方モ一ツノ方法デアリマセウケレドモ、是ハ長所ノアル反面ニ於テ短所ガ非常ニ多イ、更ニ適當ナル方法ヲ考ヘラレルトガ、必要デアルト云フコトヲ申上ゲテ、此ノ問題ハ此ノ程度ニ致シテ置キマス、更ニ最後ニ一點申上ゲテ置キタイノハ、過日モ私此ノ委員會デ申上ゲマシタ通り、大臣ガ此ノ法律ヲ御希望ニナリマス所以ノモノハ、此ノ銃後ニ於テ食糧政策ノ安全ヲ期シタイ意味ダト云フコトハ、再三御示シノ通りデアリマス、所ガ昨日是亦豫算ノ分科會デ承リマスルト、又吾々調査致シマスルト、大臣ガ此處デ御述ニナリマシタ數字ハ、儘力臺灣總督府管内ニ於テハ七十五万石ノ増產ヲ希望シテ居ル、朝鮮ニ對シテハ五十万石ノ増產ヲ希望シテ居ルト云フコトヲ、御述ニナツタ筈デアリマス、所ガ豫算書ヲ調べテ見マスルト、確ニ朝鮮總督府ニ於テハ五十万石ノ増產ノ爲ニ八十万圓ノ豫算ヲ計上致シテア

リマス、而モ是トテモ農林省ガ今追加豫算トシテ提出ニナツテ居リマスル米ノ増產ニ對スル熱意、金ノ取り方——金ダケデモノハ決ラヌカモ知レマセスガ、ソレガ豫算ノ上ニ現ハレマシタ所ノ施設ニ依ツテ考ヘマスルト、申シテハ失禮デスガ怠慢デアリマス、ソレ程増產ニ對シテ御熱意ガナイヤウニシカ受取レナイ點ガアル、豫算ノ組方ヲ見テ吾々ハサウ云フヤウニ感ズル、所ガ臺灣總督府ニ至ツテハ一文ノ豫算モ計上シテナイノデアリマス、一文ノ豫算ヲモ計上セズシテ、臺灣ニ對シテ大臣所期ノ増產可能ナリヤ否ヤト云フコトハ甚ダ私ハ疑問デアリマス、臺灣總督府ノ當局ニ承リマスレバ、豫算ハ取レナカツタケレドモ追加豫算カ何カデアル、豫備費カ何カデアルト云フヤウナ御答辯デアリマシタガ、是ハ此ノ議會ヲ無視スルモ甚シイ答辯デアリマシテ、今此ノ議會中ニ、而モ追加豫算ノ審議ニ當ツテ、是ハ豫備費カラ賄フト云フヤウナ馬鹿ナ答辯ハ、會計法ノ上カラ言ツテモ許サルベキモノデハナイノデアリマススケレドモ、何レニ致シマシテモ豫備金カラ支出スルト云フヤウナ程度ノ熱意デ、果シテ農林當局所期ノ増產ガ期セラレヤ否ヤト云フコトニ、私ハ甚ダ疑問ヲ持ツ者デアリマス、農林大臣ガ苦慮シテ斯

ノ如キ法案ヲ提出シテ居ラレマスル其ノ御精神ト、臺灣乃至ハ拓務當局ノ御考トノ間ニハ、非常ナ懸隔ガアルト思フノデアリマス、隨テ此ノ點ハ農林大臣ニ於カレマシテハ國務大臣トシテ、嚴ニ臺灣總督府乃至ハ朝鮮總督府ニ對シテ御鞭撻ナサイマセスト、大臣ガ御説明ニナリマシタヤウナ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカドウカ、甚ダ疑問ダト思フ、此ノ豫算ヲ見マシタケデモ吾々ハ甚ダ遺憾デアリマス、尙ホ時間ガアレバ十分承リタイ點ガアルノデアリマススケレドモ、是等吾々ガ此ノ議會ヲ通ジテ豫算等ヲ通ジテ考ヘマシタケデモ、農林大臣ノ御考ニナツテ居リマスル所ト、政府全般ガ此ノ線ニ沿ツテ居ルヤ否ヤト云フコトニ付テハ非常ニ疑問ガアル、隨テ銃後ノ食糧政策ノ上ニ於テ吾々ハ甚ダ現内閣ニ對シテ、遺憾ノ意ヲ表セザルヲ得ヌ點ガ多イノデアリマスガ、是ハ農林大臣甚ダ御熱心ニ當ニ御主張デアリマスルカラ、餘程ノ御警戒ヲ以テ御進ミニナリマセスト、出來秋以後ニ於テ吾々吉植君初メ同僚ト心配シテ居リマシタヤウナ事態ガ起リマスコトヲ、甚ダ憂慮致スノデアリマスカラ、一言申上ゲマシテ私ハ質問ヲ終リマス

○櫻内國務大臣 　私ガ申上ゲマシタノハ臺灣ニ於テ約二十万石バカリ、從來ノ豫算ニ於テ増產ヲ願ヒ、今回新ニ五十万石ノ増產ヲ御願致シテ居リマス、朝鮮ニモ勿論從來ノ豫定ヨリハ更ニ五十万石ノ増產ヲ御願シテ居ル、斯ウ申上ゲタノデアリマス、交渉致シマシタノハ勿論最近ノコトデアリマシタケレドモ、其ノ點ニ付キマシテハ朝鮮總督府、臺灣總督府ニ於キマシテモ農林省ノ要求ニ應ズルヤウ、萬全ノ途ヲ講ズルト云フ回答ヲ得テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ左様ニ此處デ申上ゲタ譯デアリマシテ、内地ニ於ケルコトニ付キマシテハ勿論私ノ責任ニ於テ、ドウシテモ所期ノ目的ハ達シタイ、斯ウ云フ固キ信念ノ下ニ需給ノ推算ヲ立テテ居ル次第デアリマス、只今御話ノ臺灣總督府ニ於テ之ニ對スル要求ヲシナカツタト云フコトニ付キマシテハ、總督府ニ於キマシテ他ニ適當ナ施設ヲシテ下サルコトト考ヘルノデアリマスガ、河野君ノ御趣旨ニ付キマシテハ十分其ノ意ヲ體シマシテ、此ノ問題ニ對スル限りニ於テ再ビ御叱リヲ受ケナイヤウニ、致シタイト考ヘルノデアリマス

○西川委員 　農林大臣ニ御尋致シマスガ、此ノ法律ノ眼目ハ日本米穀株式會社ノ經營スル市場ニ於キマシテハ、公定價格ノ範圍

内ニ於テノミト云フコトナノデアリマスガ、此ノ市場ニ掛ル米ノ中ノ相當ノ部分ヲ占メマスル朝鮮米ニ付キマシテハ、ドウ云フ公定價格ヲ御定メニナルノデアリマスガ、此ノ市場ニ掛ル朝鮮米ノ公定價格ニ對スル御答辯ヲ願ヒマス

○周東政府委員 私カラ御答申上ゲマス、是ハ朝鮮米ト内地米ノ格差ヲ見マシテ、其ノ格差ヲ内地ノ最高最低ノ價格ニ適用シマシテ出シマシタ價格ト云フモノヲ基礎ニ致シマシテ、ソレニ產地ニ於ケル價格ト運賃諸掛リ等ノ關係ヲ見テ出來タ價格ト睨ミ合ハセマシテ、妥當ナルモノヲ決定致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○西川委員 内地米ト朝鮮米トノ格差ニ付キマシテハ、内地米各銘柄別ノ公定價格——勿論其ノ中ニ標準米ガアリマスガ、其ノ標準米ト朝鮮米ノ各銘柄別ノ公定價格ヲ定メル格差ニ付テハ、御準備ガアリマスガ

○周東政府委員 是ハ現在ニ於キマシテモ朝鮮米ノ各銘柄ト、内地トノ關係ニ於キマシテノ格差ト云フモノガ定ツテ居リマス

○西川委員 次ニ朝鮮方面ニ付テ御伺致シマスガ、朝鮮ニ於ケル公定價格ノ基準ハ、ドウ云フ基準ニ依ツテ御定メニナリマスガ、只今ノ米穀局長ノ御答ノヤウニ内地ノ市場

ノ格差及運賃諸掛リヲ考慮シテ、逆算的ニ朝鮮ノ公定價格ヲ御定メニナルノデアアルカト云フ間ニ對シマシテ、マダ御答辯ガナイノデアリマス、朝鮮ニ於ケル實數ニ基イテ、米穀統制法施行令ニ定メラレテアル方程式ニ基イテ御算出ニナルノデアアルカ、只今ノ米穀局長ノ御答辯ノヤウニ、逆算的ニ御算出ニナルノデアリマスガ、之ニ對スル御方針ダケ伺ツテ置キマス

○大野政府委員 朝鮮ノ米ノ價格ニ付キマシテモ、只今米穀局長カラ御話ガアリマシタガ、大體内地ノ公定價格ニ準據致シマシテ、農林當局ト相談ヲシテ、價格ヲ定メルコトニ致シテ居リマス

○西川委員 ソレデハ朝鮮米ノ公定價格ハ、内地ノ市場價格ヲ基準ニシテ御定メニナル、斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シウゴザイマスガ

○大野政府委員 其ノ通りデアリマス

○西川委員 私ハ議論トシテ色々アリマスガ、方針ガ明ニナリマシタカラ之ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス

○添田委員長 石坂君

○石坂委員長 先般農林大臣ニ御尋シマシタ中ニ、町村制改革ノ問題ノ御答辯ガ残ツテ居リマス、私ハ長期建設下ノ此ノ時局ニ

當リマシテ、農村ノ自治制運営ニ付キマシテモ、新シイ考慮ガ拂ハレナケレバナラス、而シテ其ノ拂ハルベキ考慮ノ點ハ、農村團體ノ綜合統一、部落制度ノ強化、斯様ナ點ヲ考ヘマシテ、サウシテ一面隣保相助ノ精神ヲ益、昂揚致シマシテ、生産擴充ニ當ルヤウナ方向ニ、町村制ノ改革ヲスル必要ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、先般町村制ガ提案サレルヤウニ傳ヘラレマシタガ、遂ニ其ノ提案ヲ見ナカツタノデアリマシテ、私共此ノ點頗ル遺憾ト致シテ居リマスガ、農林大臣ハ只今申上ゲマシタヤウナ方向ニ於ケル農村自治制度改革ノ見地カラ、次期議會ニ於テ内務當局ト御聯繫ノ上ニ、農村自治制度ノ改革案ヲ御提案ナサル御意思ガアルカドウカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今ノ問題ハ政府ニ於キマシテモ研究致シマシテ、本議會ニ提案致ス準備ヲ致シテ居ツタノデアリマスガ、御承知ノ通り市制ノ關係其ノ他多少研究ノ殘サレテ居ル點ガアリマシタノデ、之ヲ一時延期シタノデアリマス、出來ル限リ之ヲ整理致シマシテ、次ノ議會ニ提案致シタイト云フ方針ヲ以テ進ミツツアリマス

○石坂委員 諒承致シマシタ

○添田委員長 質問ハ是デ終了致シマシタ、是カラ討論ニ入ルノデアリマスガ、其ノ前ニ十分間程休憩致シマス

午後零時四十四分休憩

午後一時三十分開議

○添田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、是ヨリ討論ニ入ルノデアリマスガ、ソレニ先立ツテ私ヨリ二三ノ點ニ付キマシテ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、第一ニハ、第一條ノ但書ノ勅令ノ内容ニ付キマシテ、相續ノ場合ニ於テハ、ヤハリ許可ヲ受ケナケレバナラスヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ實際ノ事情ニ鑑ミテ、家督相續人ハ届出主義ニ依ツテ業務ノ繼承ガ出來ルヤウニスル方ガ宜カラウカト考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御意見ハ如何デアリマスガ

○櫻内國務大臣 委員長ノ御意見至極適當デアラウト思ヒマスノデ、勅令ヲ制定スル場合ニ付キマシテモ、其ノ通り考慮致シタイト思ヒマス

○添田委員長 次ニ許可ヲ受ケタル者ガ死亡シテ、其ノ家督相續人ガ業務ヲ行フノニ不適當デアルト云フヤウナ場合ニハ、特ニ緣故者ニ繼承セシムルノ方法ヲ講ズルコトモ必要デアルカト思フノデアリマスガ、之

ニ對スル御意見ヲ御伺シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今ノ御意見ハ至極御尤ト考ヘマスノデ、行政上ノ手續ニ於テ左様ナ指示ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○添田委員長 第四條ノ規定デアリマスガ、第四條中ノ命令ノ發動ニ付キマシテハ、米穀統制委員會ノ議ヲ經ルコトガ適當デナйкаト思フノデアリマスガ、之ニ對シテノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 第一項ノ發動ノ場合ハ、米穀統制委員會等ニ付議シタル上、發動致シタイト考ヘテ居リマス

○添田委員長 次ニ第六條ニ關スル勅令案ノ内容ヲ見マスルト、賣買取引ガ現物ト未著物ト延取引ノ三本建トナツテ居ルノデアリマスガ、延取引ハ投機市場化スルノ虞ガアリマス、本法立案ノ趣意ニモ反スルヤウニモ思ハレマス、米穀ノ配給統制ガ完全ニ出來レバ、延取引ノ如キハ之ヲ廢止シタ方が宜イト思フノデアリマスガ、政府ノ意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 延取引ハ出來得ル限り避ケタイト思ヒマスガ、現在ノ情勢ヨリ考ヘマシテ、東京大阪ノ二箇所ニ之ヲ許シ、其ノ他二三箇所ニ限り専門ノ委員會ヲ開キ、其ノ審議ノ結果ニ依リ決定ヲ致シタイト思

ヒマス

○添田委員長 私ノ質問ハ是デ終リマス、是ヨリ討論ニ入りタイト思ヒマス——長野君

○長野委員 私ハ立憲民政黨ヲ代表致シマシテ、米穀配給統制法案ニ對シテ極メテ簡單ニ一部修正ヲ致シ、他ハ大部分原案ニ贊成ノ意見ヲ開陳セントスル者デアリマス、國民ノ主要食糧タル米穀ハ、一貫シタル國策ノ下ニ生産配給消費ガ行ハレナケレバナラスノデアリマス、然ルニ其ノ米穀ハ米穀取引業者ノ投機ノ具ニ供セラレ、國民生活上問題ヲ惹起シタルコトハ、改メテ申述ベルマデモナイコトデアリマス、政府ニ於テモ本院ノ協賛ヲ經マシテ、昭和八年三月米穀統制法、同十一年五月米穀自治管理法ヲ制定致シマシテ、米穀ノ最高最低ノ基準米價ヲ定メ、國民生活ノ安定ニ資シ來ツタノデアリマスケレドモ、其ノ全キヲ得ザリシ爲、今回政府ハ平時戰時ニ於ケル食糧問題ノ重要性ニ鑑ミ、米穀ノ圓滑ナル配給ト適正ナル價格ノ構成ヲ圖ル爲ニ、取引機構ヲ改革シ、投機取引ヲ抑制シ、實需ニ基ク正米取引ヲ原則トスル機構ニ改メ、併セテ米穀取引ノ許可制ヲ布キ、米穀配給統制ノ態勢ヲ整ヘ、以テ食糧問題ノ解決ニ資セントス

ルモノデアリマシテ、事宜ヲ得タルモノト認メルノデアリマス、併シナガラ本法案ハ其ノ實施ニ當リマシテ勅令、命令ニ讓ルモノガ極メテ多ク、其ノ及ブ所モ亦極メテ甚大デアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、政府ハ民間ノ實情ト民意トヲ參酌致シマシテ、特ニ監督ハ、指導ニ重キヲ置クベキデアル、苟モ實際ノ運用ニ於テハ所謂無我ノ境ニ立ツテ官僚獨善ノ弊ニ陥ラザルヤウ、嚴ニ戒心ヲ要スベキモノデアル、萬一本法第一條ノ許可ニ對シテ實情實ニ絡メラレ、手加減ヲ加ヘルガ如キコトガアリマシテハ、其ノ根本ヲ覆スノ虞ガアリマス、又第四條ノ命令ハ、所謂傳家ノ寶刀デアリマスルカラシテ、其ノ妙用ヲ發揮シナケレバナラス、第六條ノ取引ニ至リマシテハ、從來ノ如ク投機取引ヲ繰返サザルヤウ、尙又第五十六條ノ日本米穀株式會社設立ニ當リマシテハ、舊取引所ノ財産ノ評價ニ付テハ嚴密ナル調査ヲ遂ゲテ、苟モ本院ノ論議ヲ惹起スルコトノナイヤウ戒ムベキデアルト考ヘマス、同五十九條ノ施行ヲ見越シテ米穀商店ノ新規開業ノ弊ヲ防グ爲ニハ、本年四月一日ノ現在ニ依ツテ米穀業者ノ權利ヲ認メテ行クト云フコトガ、至當デアラウト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ理由ニ依リマシテ

第四條第一項ヲ左ノ通り修正

政府ハ特ニ必要アル場合合米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ノ配給統制ニ關スル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十七條ノ四項トシテ左ノ一項ヲ加フ

日本米穀株式會社ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後五箇年間日本米穀株式會社ノ役員トナルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條ノ二項三項ヲ削リ第四項ヲ左ノ通り修正

日本米穀株式會社前項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ營マンストスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第五十條ノ第一項第二號中「又ハ第二項」ノ五字ヲ削ル

第五十九條左ノ通り修正

昭和十四年四月一日現ニ第一條ノ許可ヲ受クベキ米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ノ業務ヲ行フ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ同條ノ規定施行ノ日リヨ之ヲ同條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做スト云フコトニ致シマシテ、其ノ他ハ原案ニ贊成ヲ致シタイト考ヘルノデアリマス

尙ホ一言附加致シタイコトハ、帝國ノ人口ハ年々百万人ヲ増加シテ參ツテ居リマス、サウシテ國民ノ生活モ亦日々向上致シテ居ルノデアリマス、然ルニ米作ノ耕地ハ、昭和十二年マデノ十箇年間ニ二千町歩ヲ減ジテ居ルノデアリマス、特ニ日支事變勃發後、各地ニ飛行場ノ開設、軍需工場其ノ他ノ工場ガ續出致シマシテ、其ノ潰レ地ハ蓋シ數千町歩ニ達スルモノト認メル現狀ニ在ルノデアリマス、農林當局ガ御計畫ニナツテ居ル所謂指導ノ徹底ニ依ル増産計畫位ニテハ、到底將來ニ於テ、此ノ食糧問題ノ解決ニ資スルコトハ、難カシイト考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、政府ハ次ノ議會ニ開墾其ノ他適當ノ案ヲ立テテ、本院ノ協賛ヲ求ムベキデアル、而シテ其ノ増産ニ付テハ耕地開墾、用排水土地改良等ノ外、農業ノ基本タル農村ノ中堅國民ノ増加ニ努メナケレバナラスノデアアル、ソレニハ自作農ノ増加ニ俟ツニアラザレバ、農村ノ健全ナル發達ヲ望ムコトハ出來マセヌ、政府ハ思ヒ切ツテ自作農創設資金ヲ増加シテ、中堅國民ノ増加スルヤウニ努メテ戴キタイノデアリマス、尙又米穀検査ヲ國營ニ移シマシテ、サウシテ系統アル農業政策ヲ執ルベキデアラウト考ヘマス、産業組合ト商人、

商業組合トノ相剋摩擦ハ、洵ニ寒心ニ堪ヘザルモノガアリマス、平沼首相ノ堅持セララル所ノ總親和ニ反スルバカリデナク、國力ノ進展ニ甚ダ害ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、特ニ農村ノ重要問題ハ、各種各樣ノ生産團體、非生産團體ガアリマシテ、是ガ實ニ林立致シテ居リマシテ、煩瑣ナル矛盾撞著ガ多イノデアアル、ソレデアリマスカラ、政府ハ適當ノ方策ヲ御立テニナツテ、是等ノ團體ヲ綜合統一シテ、所謂總親和ノ實ヲ擧ゲ、國力ノ進展ニ邁進スベキデアルト思ヒマス、私ガ曩ニ述ベマシタ修正案ニ付テハ、誤ガアツテハナラヌト考ヘマスカラ、別ニ文書ヲ以テ提出致シマス、之ヲ以テ一部修正シ、他ハ政府ノ原案ニ賛成ノ意見ト致シマス(拍手)

○田中委員 此ノ討論ニ入ル前ニ、只今提出セラレマシタ修正案ヲ、モウ一遍朗讀ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、ドウデセウ、第四條第一項ヲ左ノ如ク改ムガ、第四條ヲ左ノ如ク改ムト第二項ヲ決メタヤウナコトニナツテシマフノデス

○添田委員長 後カラ文書ヲ出スト云フ話デス

○窪井委員 議事進行ニ付テ……今ノ書面デ出スコトニ付テ、其ノ書面ハ速記ニ掲載

シテ貰フト云フコトニシテ戴キタイト思ヒマス

○添田委員長 速記ハ書面ニ依ツテ書イテ貰フコトニシテ戴キマス——田中君

○田中委員 私ハ立憲政友會ヲ代表シマシテ、只今民政黨カラ出サレマシタ修正動議ト同ジ修正意見ヲ提出致シマス、サウシテ本案ニ賛成ノ意ヲ表スル次第デゴザイマス、本案ハ國民ノ主要食糧デゴザイマス所ノ米ノ配給ヲ統制シテ、サウシテ長期戰下ニ於ケル所ノ國民生活ノ安定ヲ期セラレントスル趣旨デゴザイマシテ、私共ハ其ノ趣旨ニ對シマシテハ賛成ヲ表スルモノデゴザイマス、併シナガラ先般來開會セラレマシタ本委員會ノ質疑ノ模様等ニ付テ考ヘテ見マスト、幾多ノ缺陷ガアルヤウニ考ヘラレルノデゴザイマス、其ノ缺陷ノ爲ニ或ハ政府ノ所期セラレテ居ル所ノ効果ヲ擧ゲ得ルカドウカト云フコトニ付テ、聊カ疑ヲ持ツノデゴザイマスケレドモ、本案ノ内容ヲ見マスト、米穀業ヲ免許制度トセラレテ、所謂米穀商人ノ生活安定ヲ期セラレタ點、或ハ投機取引ヲ抑制セラレテ米ノ正常取引ニ是正セラレル點、斯樣ナ點ヲ見マスト、本法モ有意義ニ考ヘラレルノデゴザイマス、加之本法ノ内容カラ致シマスト、立憲政友會年來ノ

主張デゴザイマシタ所ノ米ノ專賣ニ向ツテ、一步ヲ進メルヤウニ考ヘラレルノデゴザイマスカラ、是等ノ點ニ鑑ミマスト、本法ハ無イヨリハヤハリ有ル方ガ増シデアル、左様ナ考デ私ハ本法案ニ賛成スル次第デゴザイマス、併シナガラ本法ノ施行ニ依リマシテ、生産者團體ト米穀商トノ相剋摩擦ガアルヤウナコトガアリマシテハ、洵ニ遺憾トスル所デゴザイマスカラ、今後ハ行政ノ上ニ於テ是等ノ摩擦ヲ防止セラルルヤウニ努メテ貰ヒタイ、又先般農林大臣ハ新ニ會ヲ設置シテ、國民生活ノ安定ヲ期シタイト云フ言明デゴザイマシタガ、ドウカ此ノ會ヲ開カレテ所期ノ效果ヲ擧ゲテ貰ヒタイ、又次ニハ本法ノ運用ニ關シマシテハ隨分澤山ノ勅令ガ出ルコトニ相成リマシテ、勅令ニ委ネラレル所ノ事項ガ頗ル多イノデゴザイマスガ、本法制定ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、適當ニ是等ノ立法ヲセラレンコトヲ希望スル次第デゴザイマス、又本法施行ニ伴ヒマシテ聲明セラレマシタ所ノ米穀ノ増産計畫ヲ實現セラレテ、或ハ農業用具ノ需要供給ヲ圓滿ナラシメテ、所謂戰時下ニ於ケル所ノ米穀政策ノ萬全ヲ期セラレタイト云フコトヲ更ニ希望致シマシテ、本案ニ賛成ヲ表スル次第デゴザイマス(拍手)

○添田委員長 北勝太郎君

○北委員 我ハ第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、只今長野君ヨリ御提出ニナリマシタ修正案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、更ニ本法施行ニ付キマシテ、次ノ希望意見ヲ附スルモノデアリマス

一、政府ハ戰時下國民生活安定ノ爲メ穀其ノ他食糧供給確保ニ付キ萬全ヲ期スベシ

二、政府ハ第四條ノ命令發動ニ當リテハ特ニ慎重ナル處置ヲ執ルベシ

三、政府ハ米穀ノ最高最低價格ノ決定ニ付キテハ他物價ニ比シ其ノ適正ヲ失セザルヤウ最善ヲ期スベシ

四、政府ハ肥料及ビ其ノ他農業生産資材ノ配給ニ付キ適切敏速ナル方途ヲ講ズベシ

以上デアリマス——私ハ此ノ際私ニ對シ動モスレバ生計易キ誤解、即チ唯私ガ産業組合ノ爲ニミ辯ズルカノ如キ誤解ヲ受ケル虞ガナシトハセヌノデアリマスガ、國家ノ爲ニ茲ニ一言ヲ致シテ置キタイノデアリマス、本法案中生産者代表タル賣市場員トシテノ全販聯ニ對シマシテ、色々ノ掣肘ヲ加ヘテアリマスコト、竝ニ新ニ販賣組合ノ白米小賣ヲ爲ス場合、特ニ許可ヲ要スルコト、

此ノ二ツハ明ニ販賣組合ノ事業制限デアリ

マシテ、販賣組合ノ事業ヲ想ハザル困難ニ導キ、汗水ヲ流シテ働ク一番不利ナ立場ニアル農民ヲ、更ニ一層不利ノ地位ニ突落スモノデアリマスシ、又消費者ノ利益ヲ代表スベキ購買組合、特ニ其ノ最モ代表的機能ヲ持ツテ居ル所ノ全購聯ニサヘ、買市場員タル資格ヲ與ヘナイト云フコト、更ニ臺灣米竝ニ政府所有米ノ一切ヲ、將來此ノ會社ニ獨占化サセル筋書トナツテ居ル今日ニ於テ、

斯ノ如キ差別待遇ヲ致シマシテ、購買組合ヲ閉出ヲシヨウトスルコトハ、甚シク消費者大衆ノ利益ヲ阻害スルモノデアリマス、是デ果シテ農民ヲ消費者大衆ガ默ツテ居ルモノト思ツテ居ラレノデアリマセウカ、是コソ時代ニ反抗シ大勢ニ逆行スル所ノ一大錯誤デナクテ

何デアルカ、當局ハ動モスレバ、法ノカノミヲ過信シテ農民ヲ侮リ、又ハ消費者大衆ヲ見縊ツテ居ル風ガアル、百姓ヲ馬鹿ニシ切ツテ居ル、時勢ノ要求ニ依ツテ生レ、而モ四十年ノ長イ歲月ニ互リマシテ築キ上ゲマシタ此ノ組織ト、一步々々培養サレタ所ノ組合精神トハ、不合理ニ抑ヘレバ抑ヘル程、潮ノ如キ大勢トナツテ現レテ來ルデアラウ、今ニシテ之ヲ改メザレバ想ハザル結果ニ陥ルモノト思フノデアリマス、ソレハ

鬼ニ角トシテ本案ニ對シテ農相ハ農家ノ生活安定ト、消費者ニ對シテ食糧ヲ確保スルノガ目的デアルト説明セラレテ居ルニ拘ラズ、遂ニ其ノ眼目トシタ所トハ凡ソ縁ノ遠イモノニナツテシマツタコトハ、洵ニ遺憾トスル所デアリマス、極メテ公平ナル見地ヨリスレバ、此ノ種ノ立法ヲ爲スニ當リマシテハ、其ノ目的以外ニ互ツテ而モ一方ノミニ偏ツテ之ニ便宜ヲ與ヘ、又一方ノミヲ縛ルト云フガ如キコトハ、嚴ニ戒メナケレバナラスコトデアリマス、此ノ立法ノ經過ヲ見ル時ニ、本法ノ最初ノ趣旨ハ、サウデハナカツタ筈デアアル、然ルニ本法ハ米穀商側ノ巧妙ニシテ大袈裟ナル空宣傳ト、世間往々アリ勝ノ産業組合ノ本質ニ對シ、履キ違ヒノアル虚ニ乗ジテ、遂ニ目的外ノ傍道ニマデ外レタノデアリマス、此ノ種ノ人ハ得テシテ大袈裟ナ空宣傳ニ依ツテ世間ヲ惑ハシ勝チノモノデアアル、想ヒヲ運ラセバ米穀自治管理法案ノ時モ、アノ法案ガ通レバ明日カラニモ米屋サン達ノ商賣ガ乾上リ、生活ノ道ヲ絶タレルトシテ隨分議員諸君ヲシテ惻隱ノ情ヲ催フサシメタモノデアツタノデアリマス、ダガアノ法案ガ通ツテ見レバ、之ガ爲ニ一人ノ倒産者ヲ出シタト云フコトヲ聞カナイ、又是等ノ人ノ仕事

ニ少シモ支障ガアツタト云フコトヲ聞カナ

イノデアリマス、本案ノ如キモ全ク是ト同案ノモノデアリマシテ、斷ジテ彼等ノ言ヲ眞ニ受クベキモノデハナイニ拘ラズ、遂ニ本法案ハ其ノ手ニ乗セラレテシマツタノデアリマス、識者ハ十分之ヲ見破ツテ戴カナケレバナラスト思フノデアリマス、此ノ趣旨ヲ以テ産業組合ノミヲ縛ツタナラバ、ドウ云フ結果ヲ齎スカ、此ノ杞憂ヲ取上ゲ此ノ不自然ヲ許シタナラバ、其ノ結果ハドウ

ナツテ來ルカト云フト、百姓コソ氣ノ毒ナ目ニ遇フノデアリマス、言フマデモナク事變下ニ於テ一番大切ナコトハ、食糧ノ減收ヲ防グコトデアアル、問題ノ根本ヲ成スモノハ何ト言ツテモ米ノ生産ヲ豊富ニシテ、サウシテ其ノ價格ヲ安定スルコトデアリマス、之ニ主眼ヲ置カナケレバナラスノデアリマス、換言スレバ價格ノ騰貴ヲ防ギナガラ生産ノ減退ヲ防グ爲ニハ可及的百姓ノ引合フヤウナモノニシテヤラナケレバナラスノデアリマス、然ルニ御承知ノ通り米ノ値ハ

中々上ゲラレヌ事情ニアル、サウ云フヤウナ事情ニアリナガラ、中間商人ニノミ便シタ所ノ、私ハ一面ハ中間商人保護法ト、斯ウ言ツテシマツタ方ガ、宜イ位ノ法案デアルト思フノデアリマス、サウシテ生

第六類第二十三號 米穀配給統制法案委員會會議錄 第十一回 昭和十四年三月十八日

産者ノ機關デアル販賣組合ヤ、消費者ノ代表デアル所ノ購買組合ノ活動ニ制限ヲ加ヘル、之ガ爲ニ農民ハ唯彼等ノ糟ダケヲ嘗メテ居ルト云フコトニナツテシマツテ、遂ニ經濟ノ不引合カラ生産ノ減少ヲサス、ソレヨリ他途ガナイ、必ズ生産ノ減少トナツテ現ハレテ來ルモノト思フノデアリマス、斯ノ如ク生産ガ激減シテシマツタノデハ、是ハ萬事休スデアリマス、ココヲ能ク嚙ミ分ケテ戴カナケレバナラスノデアリマス、何人モ世ノ中ニ相剋摩擦ノナイコトハ望マシイコトデアリマス、ダガ併シ枝葉末節ノ相剋摩擦ヲ惧ルルノ餘リ、唯々現状ニノミ膠著シテ、此ノ米ノ取扱ニ對シマシテモ最モ合理性ノアル新機構、而モ相當ノ實力ヲ有スルモノ、此ノ相當ノ實力ヲ有スルモノヲ殊更ニ避ケテ、時代ノ大勢ニ逆行シテ行カウト云フヤウナコトデ、ドウシテ此ノ困難ナ事情下ニ於テ生産力ノ維持増進ガ出來ルカ、兎角我國朝野ノ間ニハ、日本ハ幸ニシテ食糧ダケハ先ヅ心配ガナイト云フ大キナ油斷ガアル、總テノ手拔カリハ此處カラ出テ居ルヤウデアリマス、私ハ是コソ實ニ危ブナイ所ノ隙ダト思フノデアリマス、此ノ手拔カリト云フモノハ、既ニ色々ノ方面ニ現ハレテ居ルノデアリマシテ、

敢テ米ノ配給ダケデハナイノデアル、私共ノ希望條項ノ第四項ニ擧ゲテ置イタ所ノ農水産物ノ生産ニ必要ナル資材、即チ肥料、飼料、農具、漁具、石油、農業、藥品等其ノ配給ガ悉ク圓滑ヲ缺キ、且ツ適切ニ行ツテ居ラスノデアリマス、在リ餘ル所ノ品ヲ分ケル時ト違ヒマシテ、不足スル物ヲ上手ニ分配シナケレバナラスノデアリマスルカラ、自ラ此ノ配給ニハ農漁村ノ爲ニ當然通ラナケレバナラス所ノ道ガアルノデアリマス、此ノ役割ヲ果スベキ機關、而モ過去四十年間國策トシテ築キ上ゲテ來タ所ノ此ノ最モ完備シタ組織、充實シタ所ノ力ガ一方ニアルニ拘ラズ、殊更ニ此ノ正道ヲ通ルマイトスルガ爲ニ、先日モ此處デ申上ゲタ通り、定石ヲ外ヅシタ下手基ト同ジク考ヘテモ考ヘテモ良イ手ガ出ル筈ハナイノデアリマシテ、苦勞シナガラ少シモ效果ガ擧ラズ遂ニ益、深ミヘ／＼ト落込シテ行ツテ居ルノデアリマス、農村ニ於ケル原資材ヲ商業組合ニ割當テマシテモ、ソレガ製品ガドウナツテ行クカト云フト、他ノ儲カル方ニ全部流レテ、一向農民ノ手ニ渡ラス、公定價格ヲ決メルトドウナルカ、質ヲ落シテシマフ、又農業ハ季節ヲ最モ尊ブモノデアアルニ拘ラズ、總テノモノガ時機ヲ失シテ役ニ立タヌ、

政府ハ之ニ對シテ今後十分監督スルトハ言フガ、一人ノ人ニ一人ノ監督官ヲ附ケル譯ニハイカヌ、全ク是ハ不可能ナコトデアリマシテ、農村デハ今實ニ非常ニ切迫シタ状態ガ現ハレテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ米ノ生産ノ爲ニ必要ナル資材ノ價格ノ騰貴率ナルモノヲ、最近ノ調査ニ依ツテ見マスルト、昨年ニ較ベテ肥料ガ平均四割四分上ツテ居ル、其ノ他ノモノガ七割三分四厘上ツテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ分デハ此ノ秋ノ米ノ生産費ハ、先日モटनाタカ此處デ言ハレタ通り、石五十圓デナケレバ引合ハスト云フ問題ガ起ツテ來ルノデアリマシテ、是ハ實ニ由々シキ問題デアアル、枝葉末節ノ相剋摩擦ノ如キ話デハナイノデアリマス、而モ何等ノ影響ノナイ杞憂ニ近イ所ノモノニ釋カサレテ、遂ニ此ノ位ノ程度ノ革新サヘ出來ナイデ置イテ、ドウシテ此ノ困難ナル事情ノ下ニ生産力ノ擴充ガ出來ルカ、又此ノ超非常時ヲ乗切ツテ行クコトガ出來ルカ、斯ル時局ノ場合ニハ些々タル斯ウ云フモノニ拘泥スベキモノデナイ、國家全體ノ爲ニ當局ノ猛省ヲ促シテ置ク次第デアリマス(拍手)

○添田委員長 杉山元治郎君

○杉山委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ民政黨ノ修正案ニ賛成シ、其ノ他ハ政府原案ニ賛成スルモノデアリマス、米穀ハ國民ノ糧食デアリ、又國民經濟カラ考ヘテ見マシテモ、或ハ農業經濟カラ考ヘテ見マシテモ、非常ニ重要ナモノデアルコトハ、今更申スマデモゴザイマセヌ、此ノ米穀ヲ多年ノ間投機ノ具ニ供シテ居リマシタモノヲ、本案ニ依ツテ其ノ投機ヲ是正、抑制スルコトガ出來ルヤウニナリマシタコトハ、一大進歩デアルト考ヘルノデアリマス、而シテ其ノ大切ナ米穀ハ、生産消費配給ト云フ三ツヲ一貫致シマシテ、萬全ヲ期セナケレバナラナイト存ズルノデアリマシマス、色々質疑應答ノ中ニ、或ハ本案ヲ通シテ見マス時ニ、色々不安ノ點モナイデハナイノデアリマスガ、政府ハ十分努力スルト云フ言葉ニ信頼致シマシテ、私共ハ唯單ナル机上ノ言葉ダケニアラズシテ生産、消費、配給ノ圓滑ニ參リマスルヤウニ、一層ノ萬全ヲ期シテ戴キタイト存ズルノデアリマス、併シ尙ホ一言致シタイトハ、本案ヲ見マス時ニ其ノ生産ノ増産計畫ニ於キマシテモ、尙ホ不十分ノ點ガアリ、増産計畫ノ最モ必要ナル要素デアリマス所ノ農業資材配給ノ點ニ於キマシテモ、今北君ガ

申述ベマシタヤウナ缺點モ多々存シテ居ル
カノヤウニ見受ケルノデアリマス、其ノ他
今日ノ國內情勢ト致シマシテ、農業機構ト
云フモノヲ斷然改革ヲシテ參ラナケレバ、
其ノ目的ニ達スルコトハ非常ニ困難デア
ルト考ヘマス、故ニ私共ハ次ノ希望條項ヲ附
シテ本案ニ賛成スルノデゴザイマスルカラ、
政府ハ本案實行ニ當リマシテ、吾々ガ今申
述ベマス所ノ希望條項ヲ十分斟酌致サレマ
シテ、是ガ實現ニ努力セラレルヤウニ御願
スル次第デアリマス

希望條項

- 一、本法ハ將來凶作其ノ他ノ事情ニ因リ
食糧ニ窮屈ヲ感ジタル際ノ配給統制機
構トシテハ不充分ナル點アルヲ以テ、
政府ハ速ニ米穀專賣制ヲ實施スルカ、
或ハ其ノ他ノ方法ニ依ル完全ナル米穀
配給機構ヲ立案スベシ
- 二、本法ハ戰時米穀政策上、重大ナル増
產計畫、配給計畫及ビ消費節約計畫ノ
關聯ヲ缺ケルヲ以テ、政府ハ速ニ米穀
消費節約運動ヲ積極化スベシ
- 三、本法施行後生ズル取引所員其ノ他ノ
犠牲者ニ對シテハ特ニ適正ナル對策ヲ
確立シ萬遺憾ナキヲ期スベシ
- 四、政府ハ米穀増產政策ヲ徹底セシムル

爲ニ、生産資材ノ割當ニ付テハ、軍需
ト同等ノ重要性ヲ確認シ、其ノ供給ヲ
確保スルト共ニ配給ニ付テモ生産者ニ
十分行キ渡ルヤウ其ノ配給機構ノ改善
ヲ期スベシ

五、米穀生産者ニ對シ、豊富ナル肥料割
當ヲ行フ爲ニ、肥料配給統制ノ範圍ヲ
有機質肥料ニマデ擴大シ、其ノ價格ノ
暴騰ヲ抑ヘ、且ツ其ノ配給割當ヲ貧農
層ニマデ普遍スルノ方途ヲ速ニ講ズベ
シ

六、現下ノ農村勞働力缺乏ノ實情ニ鑑ミ、
勞働力補給調整ノ施設ヲ完備スルト共
ニ、農業ノ協同化、機械化、電化等ヲ
促進シ、單位勞働生産性ノ向上ヲ期ス
ベシ

七、低價格ニ依ル増產ヲ必至トスル時局
ノ要望ニ鑑ミ、農家必需品ノ缺狀價格
差ヲ是正シ、其ノ引下ヲ計ルト共ニ、
不合理ナル農業機構ノ改革ヲ期シ、農
產品ノ生産費切下ガヲ徹底セシムル爲
ニ小作料ノ低減、耕地ノ交換分合等ヲ
實現スル爲ノ土地ノ公益の國家管理ヲ
斷行スベシ

以上デアリマス

○添田委員長 小野君

○小野(謙)委員 私ハ東方會ヲ代表シテ民
政黨ノ提案ヲ修正案ニ賛成ヲ致シマス、更
ニ修正案ヲ除イタル本法案ノ全部ニ賛成ノ
意ヲ表スルノデアリマス、本法案ハ我國食
糧政策ノ根幹トモ言フベキ法案デアリマシ
テ、唯法案自體ガ日本國民ノ主要主食品タ
ル米穀ノ配給ヲ圓滑ニスルノミナラズ、一
方ニ於テハ生産者タル農民ノ農業經營ヲ安
定化シ、他方ニ於テハ消費大衆ノ食糧不安
ヲ一掃スルト云フ理想的目的ヲ持ツ點ヲ、
私共ハ重大視シテ居ルノデアリマス、今ヤ
事變ハ長期持久ノ域ニ入ツテ居リマス、即
チ政府ハ戰時米穀政策ヲ確立シ、今後ニ於
ケル米穀事情ノ急激ナル變動ニ備ヘ、以テ
絕對ニ國民ノ生活ヲ脅威セシムルコトナカ
ラシムルヲ期セシガ爲ニ、本法案ヲ出シタ
ト申サレテ居リマス、其ノ對策ト致シマシ
テ、先ヅ政府ハ應急的ニハ農林水產物増產
政策ヲ執ラレテ居リマス、洵ニ結構ナコト
デアリマス、併シナガラ是ト並行シテ恒久
的ノ増產計畫ヲ立テナケレバ相成ラスト思
フノデアリマス、其ノ恒久的對策ト申シマ
スルノハ、先般平野君カラモ私案ヲ提示サ
レマシタ通りニ、徹底セル土地問題ノ解決
デアリマス、吾々ハ東方會ニ於キマシテモ、
此ノ土地問題ノ解決ハ全耕地ノ小作化ヲ除

イテハ案ガナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、
其ノ手段方法ニ付キマシテハ、平野君ト相
違ガアリマスガ、其ノ結論ニ於テハ同一ノ
點ニ到達致シテ居ルノデアリマス、更ニ生
産ノ増進ト相並ベマシテ、消費ノ合理化ヲ
圖ルコトデアリマス、此ノ點ハ本委員會ニ
於キマシテモ、各委員會カラ屢々論議サレ
タ所デアリマス、又増產計畫ニ伴ヒマスル
増產計畫ト價格ノ抑制政策トノ間ニ、私ハ
一大矛盾ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、
政府ハ今次ノ米價政策ハ高米價政策デモナ
イ、低米價政策デモナイ、適切ナル米價ノ
決定デアルト申シテ居リマスルケレドモ、
私共ハ本案ヲ見マスル時ニ、之ヲ言葉ヲ以
テ表現シマスレバ、低米價ト言ハザルヲ得ナ
イノデアリマス、是モ事變下ニ於ケル政策ト
シテハ、直ニ已ムヲ得ナイモノデアルカモ
存ジマセス、併シソレト共ニ一般低物價ノ
徹底化ヲ圖ラナケレバ相成ラスト思フノデ
アリマス、即チ農村ニ於ケル肥料、生産資
材、其ノ他農村ニ要シマスル所ノ工業生産
品ノ價格ノ低下デアル、私ノ郷里アタリデ
ハ斯様ニ申シテ居リマス、鶏卵ト鶏肉ノ値
段ヲ統制シテ居ル、然ルニ飼料ノ方ハ値段
ガ上リ放題ダ、斯ウ云フコトヲ申シテ居リ
マス、百姓デモ、ハツキリサウ云フコトヲ

認識シテ居ルノデアリマス、本案ハ幸ニ農林、商工兩省ノ共管ニナツテ居リマスノデ、本法ノ實施ニ當リマシテハ兩省緊密ナル連絡ヲ執リマシテ、此ノ徹底セル一般ノ低物價政策ヲ、斷行シテ戴キタイト思フノデアリマス、次ハ米穀生産團體ト米穀取扱業者トノ活動分野ノ調整デアリマス、此ノ問題モ農林大臣カラ共存共榮、お互ニ中間ノ無駄ヲ省イテヤツタナラバ、繁昌疑ナシトノ御答辯ガアツタノデアリマスガ、併ナガラ取扱フ所ノ米穀ノ數量ハ、大體ニ於テ同様デアリマス、而シテ又將來ニ於テハ、其ノ利潤ガ極メテ僅少化致シマシテ、恐ラク手數料主義ニナルノデアリマス、是ニ於テ兩者ノ共存共榮ハ一片ノ口頭禪ニ終ル心配ガ多分ニアルノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテハ先般農林大臣カラ、平沼首相ヲ首班トセラルル所ノ大調査會ノ設置ニ依ツテ、一般的ノ是等ノ相剋摩擦ヲ解消サレト云フ御話ガアリマシタノデ、其ノ政府ノ言明ニ信賴致シマシテ、私共ハ此ノ點ヲ諒承スルノデアリマス、最後ニ投機抑制ニ關スル件デアリマス、私ハ先般農林大臣トノ間ニ數回ノ質疑ヲ試ミタノデアリマスガ、此ノ投機抑制ノ——提案理由ニハツキリト明示サレテ居リマス所ノ投機ノ抑制ニ對シマシテ、本法ニ依リ

マシテハ徹底シテ投機ノ抑制ハ斷乎トシテ出來ナイト、今日尙ホ信ジテ居ルノデアリマス、伺フ所ニ依リマシテモ、政友會カラハ此ノ點ヲ御考慮サセラレ、或ル種ノ修正案ガ出タサウデアリマスガ、是モ將來ニ遺シマシテ未解決ニ終ツタノデアリマス、ドウカ本法實施ニ當リマシテハ特ニ此ノ點ニ對スル當局ノ御努力ヲ要望シテ、私ハ本案ニ贊成スル者デアリマス(拍手)

○添田委員長 小山君ハオ居デアリマセヌカラ、是デ討論ハ終結ト致シマス、是ヨリ採決ニ入ラウト思ヒマス、長野君ノ御發議ニ依ル修正案ヲ含シテ原案ニ付テ、御贊成ノ方ノ起立ヲ望ミマス

(總員起立)
○添田委員長 起立總員、滿場一致可決サレマシタ
(拍手起ル)

○窪井委員 一言此ノ際政府ノ所信ヲ御聽シタイト思ヒマス、御許シテ願ヒマス、只今委員會ニ於キマシテ修正ニ依ル案ガ全會一致ヲ以テ通過致シタノデアリマス、此ノ際私ハ政府ニ對シ、此ノ衆議院ノ委員會ニ於テ修正セラレマシタ點ニ付テ、政府ノ御所見ヲ承ルコトガ出來レバ結構ト存ジマス

○櫻內國務大臣 政府ニ於キマシテハ、只今直チニ進ンデ御修正ニ御同意致シ兼ネマスコトヲ遺憾ト致シマス、併シナガラ兩院ニ於キマシテ修正案ガ確定致シマシタ場合ハ、政府ト致シマシテ十分之ヲ尊重致ス考デアリマス

○添田委員長 此ノ際一言御挨拶ヲ申上ゲマス、米穀配給統制法案ガ本委員會ニ付託サレマシテ以來、今日ハ十一日目デアリマス此ノ間午前午後ヲ通ジマシテ、各委員ノ熱心ナル御質問、又之ニ對スル政府ノ應答ガアリマシテ、只今圓滿裡ニ修正案ヲ含シテ原案ヲ可決サレマシタコトハ、全ク皆サンノ御勉強ノ結果デアリマシテ、私ハ甚ダ不東ナ者デアリ、殊ニ此ノ委員會ノ間ニ於キマシテモ、色々御不便ノコトモアツタラウト思ハレマスルニ拘ラズ、非常ナル御指導ト御援助ニ依リマシテ、圓滿裡ニ此ノ委員會ヲ終了シ得マシタコトヲ厚ク御禮申上ゲマシテ、本會ヲ閉デマス(拍手)

午後一時五十五分散會